

# けんぽく

第6号[平成26年5月号]

県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する情報をお知らせします。



ふくしまから  
はじめよう。

Future From Fukushima.

平成26年5月29日発行

## 「食」と「ふるさと」 新生運動ニュース

編集・発行 福島県県北農林事務所

### ◆平成26年度「畑の学校」開校式が行われました！

安達郡大玉村立大山小学校では、福島県が実施する「ふくしまの農育」推進事業の一環として、平成24年度から平成26年度までの3年間にわたって「畑の学校」を実施しています。

これは、大山小学校5年生児童が実施する「畑の学校」の活動を通して、未来を担う子ども達が「農業・農村地域の大切さ」、「自然環境の大切さ」、「食べ物と命の大切さ」について

の知識を深め、“いのち”を支え、未来につなぐ『食』と『ふるさと』を実現するためのものです。

今年度は、事業の最終年度となりますが、大山小学



県北農林事務所 小泉次長あいさつ

校の5年生児童、「畑の学校長」、「畑の学校応援団」及び関係者など多くの人たちに参加していただき、5月2日に平成26年度「畑の学校」開校式を開催しました。

開校式では、福島県県北農林事務所 小泉敏彦次長が挨拶をし、「皆さんには、『食べ物、命の大切さ』、『生きものの大切さ』、『地域の大切さ』を学んでいただきたい」との言葉に、児童の皆さんは真剣に耳を傾けていました。

(農村整備部)

### ◆安達農業青年クラブ「D”ATCH」が手塩にかけて育てた野菜を販売！

平成26年4月20日に道の駅ふくしま東和で行われた「春の陣！さくらまつり」において、安達農業青年クラブ「D”ATCH（会長 伊藤広明、会員12名）」のメンバーが、自らが栽培した野菜やアスパラガスのベーコン巻きやなめこ汁、イチゴ大福などの加工品の販売を行いました。

メンバーが持ち寄った野菜類は好調な売れ行きで、特にアスパラガスのベーコン巻きやなめこ汁は、販売開始から客足が途絶えることなく、注文に間に合えないほどでした。



なめこ汁に長蛇の列



新鮮なアスパラガスをお買い上げ

メンバーは、お客様からの野菜に関する質問に答えたり、自分たちが栽培した野菜のPRをしながら、いきいきと消費者と交流していました。

今回の活動では、準備不足などの反省点もありましたが、消費者に自ら栽培した野菜等を直接販売することにより、参加したメンバーの今後の活動の自信につながりました。

「D”ATCH」は、これからも様々な活動を通して、自らの経営感覚を磨き、安達地域の農業の振興に貢献してくれることでしょう。

(安達農業普及所)

### ◆モモ予備摘果目揃い会が開催されました！

平成26年5月12日に福島市飯坂町のモモ園で、JA新ふくしまも専門部会主催による予備摘果目揃い会が開催され、生産者やJA職員など、約60名が参加しました。

モモの栽培管理の中で、摘果の作業は年3回実施します。1回目の摘果は、予備摘果と呼び、樹体の貯蔵養分の浪費を防ぎ、果実の細胞分裂を促進させます。

参加者が、この目揃い会で、枝にどの程度の果実を残していくかを確認することが、今後の各地区での摘果指導会にいかされます。



JA新ふくしまから摘果実作業について説明

また、現在、果実の肥大は順調ですが、降雨が少なく土壌の乾燥が続いているため、適宜かん水の実施を呼びかけました。



農業振興普及部から生育状況や予備摘果作業について説明（飯坂町 樺山氏モモ園）

さらに、県病害虫防除所から、5月9日付けで注意報が出されたモモせん孔細菌病について、

伝染源となる春型枝病斑（スプリングキャンカー）のこまめな切除について注意喚起を行いました。

（農業振興普及部）

## ◆WOOD JOB（ウッジョブ）！

### 林業女子トーク開催される！

平成26年5月8日、郡山テアトルにて映画「WOOD JOB！（ウッジョブ！）」の特別試写会の開催と併せて、県内在住の、林業に関わっている女性によるトークショーが行われました。

出席者は金澤裕子さん（福島森林管理署白河支署）、羽生拓希さん（合同会社地球と家族を考える会）、畠麻衣子さん（吾妻造林有限会社）、大須賀奈々さん（株式会社アメリカ屋）、藤原かおり（福島県北農林事務所）の5人。

TUFの藤原梨香アナウンサーの司会により、5人が日頃の仕事の中で感じていることを、それぞ



©2014「WOOD JOB！～神去なあなあ日常～」製作委員会

れの立場から話しました。

林業は川上から川下まで守備範囲がとても広いこと、現場でブヨの集中攻撃を受け顔がぱんぱんに腫れてしまったこと、現場作業はお腹がすくので大きなお弁当箱を持参していること、無垢の木でできた家はとても心地よいことなど、いろいろな話が飛び出しました。

林業女子トークの後は、映画の特別試写会。みずみずしい森林の香りが画面から漂ってきそうな映像で、笑いあり感動ありの、あつという間の2時間でした。

「WOOD JOB！（ウッジョブ！）」は、県内各地の映画館で5月10日から公開されています。みなさんもぜひ映画を御覧いただき、林業の世界をのぞくと同時に、身近な森林に想いを馳せてみてください。

（森林林業部）

## ◆伊達地方を小さくてもキラリと光る アスパラガス産地に！

伊達地方では、施設アスパラガスの栽培面積と生産量が増加しています。現在のJA伊達みらいアスパラガス部会員は37戸、栽培面積は7.6haで、その内施設面積は3.3haを占めています。平成25年度の出荷量は30t、出荷額は約2,800万円（JA伊達みらい実績）で、過去最高を記録しました。

平成26年5月20日に開催されたアスパラガス定植指導会には、新規作付け者を中心に12名が参加するなど、今後の増反にも積極的です。



アスパラガス定植指導会の様子

伊達地方は県内でも有数の園芸地帯であり、きゅうりやいちご、もも、ぶどうなど多彩な品目が生産されていますが、高齢者や女性向けの品目の一つとして安定した収入が見込める施設アスパラガス栽培への関心が年々高まっており、新規に作付けする農家が数多く見られます。産地拡大に当たって、施設化を推進しており、これにより茎枯病の発生も見られなくなり、安定多収を実現しています。

伊達農業普及所では、アスパラガスを重点的に推進する品目に位置づけ、平成25年度からは園芸産地復興計画を策定し、5,000万円（平成28年目標）の販売額を達成を目指してJA伊達みらいと連携して振興を図っています。

（伊達農業普及所）

**伊達みらい農業協同組合**

～地域に愛される「地域1番店」を目指すJAづくり～

**【組織の目的】**

農業を復興し、安全・安心な農産物の持続的・安定的な供給と、次代を担う世代とともに、地域に根ざした協同組合として、地域住民の皆様との絆づくりを重視し、地域を再生させる新たな協同の創造のための取組を行っております。

**【構成】**

当JAは伊達市・桑折町・国見町を事業管轄としており、正組合員数 11,010 名、准組合員数 20,066 名、役職員数 573 名となっております。(平成 26 年 2 月 28 日現在)

**【活動内容】**

営農指導事業・販売事業・経済事業の3つの事業を柱とした農業振興活動を始め、食育や生活文化活動といった地域振興・地域貢献活動についても強力に展開しております。

**【特にPRしたいこと】**

平成 21 年 7 月にオープンした直営の農産物直売所「みらい百彩館 んめ〜ぺ」では、地産地消を第一に掲げ、生産者と消費者の交流の場として、安全・安心・新鮮な地場産農産物・加工品の提供を通じ、地域農業振興と地域活性化に資することを目指しております。

地元産の農産物が年間を通じて豊富に取り揃えられることで、伊達の農業の魅力を発信する拠点として、連日賑わいを見せております。

また、平成 26 年 3 月に店内に新設した「んめ〜ぺカフェ」は、消費者同士の交流の場・地域住民の方々の憩いの場として好評を得ております。

今後も、安全・安心な食の提供を通じ、地域の皆様に寄り添った運営を心がけ、生産者と消費者双方に信頼・満足いただける取組を推進して参ります。



豊富な品揃えと賑わう店内



新設したカフェコーナー

皆様からの御意見・御要望など  
様々な情報をお待ちしております。

福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課  
電話 024-535-0382  
FAX 024-536-9590  
電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

